

こちら校長室

こころ



令和5年度



令和5年 7月 6日

京都市立修学院小学校

校長 鎌田 賢二

TEL : 075-781-4439

## 目を輝かせ 今を大切に生きる子 ～しなやかに 夢中に 安心安全に～

### 来た時よりも美しく～花背山の家宿泊学習～

6月21日～23日まで2泊3日花背山の家での宿泊学習に5年生と行ってきました。日がたつほど色々な思いが浮かんできましたので日々は経っていますが記録として残しておきたいと思います。

期間中は雨が続くような予報ではあったのですが、2日目の昼間以外は何とか天気ももち、直前まで心配だったキャンプファイヤーも無事進めることができました。

2泊3日子どもたちと一緒に過ごしていると様々な様子が見られました。計画したとおりになかなかできない野外炊事。食器をしっかり洗わないとなかなか合格を出してもらえず苦戦していたこと。夜になると想定外に暗くなること。いつもならお家の人にやってもらっていることも自分でしないといけないこと。家のことが気になって悲しくなったこと。非日常の中で思い通りにいかずにつらい思いをしたことなど色々な思いがあったんだなと顔の表情や発言などから想像することは容易でした。

となってしまうとネガティブだけが残ってしまうのかもしれません、私自身はこの3日間で昨年度の教室では見られなかった子どもたちの良さをたくさん見つけることができました。とくに最終日はそう思うことが多くありました。シーツやふとんをたたむときには協力してたたんだだけでなく、自分のところが終わると次の人のところへ行って手伝う子は「救世主！」と呼ばれていきました。それだけではなく、その後のそうじも丁寧にする姿があちらこちらで…そして最終日の野外炊事。ハヤシライスもおいしくできただけでなく、その後の片づけがとても素晴らしいかったです。1日目はかなり厳しく後片付けの合格を教えていたので、ほとんどの班が一回で後片付けの合格をもらっていました。子どもたちが喜ぶ姿をみて私もうれしくなるという素敵な循環です。

このような動きの背景に何があったのかと考えたとき、「来た時よりも美しく」ということが子どもたちの意識の中にはいっていたことがわかりました。この言葉は実はとても深い意味があるなと思います。山の家だけでなく、学校教育の中で、教職員も子どもも「来た時よりも美しく」を実践することができたらきっと「物を丁寧に扱いましょう」「物を大切に」「掃除をしっかりしなさい」「片づけしようね」「友達を大切にしましょう」というような指導の言葉はなくなっていくのかもしれません。「新しいクラスになった時」「学校に来た時」よりも美しくて素晴らしい循環をさせていただいきたいですね。

さて、私がこの修学院を去る時には、何が来た時より美しくなっているのか…たくさんの美しさを求めていきたいと思います。考えるきっかけを与えてくれた5年生の子どもたちにありがとうございますを伝えたいです。